



次の作品はちょっと違う

～ビデオ撮影教室～

5月26日(日)、文化・スポーツ振興財団主催のビデオ撮影教室が市民会館で開催されました。

この教室は、ホームビデオの撮影技術の向上をねらいに開かれたもので、旅行の記録や孫の成長記録を撮っている方など、市民10人が参加しました。

講師の今均さん(S TVニュースカメラマン)から、ビデオカメラの構え方や撮り方、撮影テーマの決め方など、撮影の基本的な説明を受けた参加者は、屋外に出て、思い思いに撮影。

個々の作品を映しながら、講師からアドバイスを受けた参加者は「これまでとはちょっと違う作品が撮れそう」とビデオ撮影がますます楽しくなったようです。



頂上からまちを再発見

～我が町探訪～

5月17日(金)、登別レクリエーション協会の主催による『我が町探訪』が行われました。

この催しは、ふるさとの素晴らしさを知り、自然とのふれあいを楽しもうと同協会が毎年この時期に行っているもので、今年も美園町の通称『ぼんず山』に登って眺望を楽しみながら周辺を散策するコースに45人が参加しました。

新生町から参加した高木千秋さんは「初めて登りましたが頂上からの眺めが素晴らしいですね。鷺別から登別まで一望でき新鮮な驚きを感じました。まちを再発見できて良かったです」と話していました。



自然とのふれあいを楽しむ

～ラブグリーンフェスティバル～

6月8日(土)と9日(日)の2日間、ツツジや藤の花が咲く亀田記念公園で、子どもから大人まで楽しめる緑のイベント『第10回ラブグリーンフェスティバル in KAMEDA』が開かれました。

夏を思わせる晴天に恵まれた初日は、公園内の植物などを集めて遊び道具などを作る『森の工作室』が行われ、木の葉や木の実を使ったスタンプをはじめ小枝の弓矢、押し花の壁掛けなど参加者はボランティアの指導を受けながら、思い思いに自然の素材を作品に仕上げ、子どもたちは早速弓矢などを使って遊びました。

2日目に行われた『ジャブジャブ川金魚すくい』では、川に金魚が放たれると、ズボンの裾をまくりあげた子どもたちが歓声を上げながら一目散に冷たい川に入り、夢中で金魚すくいに興じていました。



また、恒例の苗木の無料配布には、雨が降りしきる中、市民250人が列をつくりツツジの苗を受け取っていました。

苗木の無料配布

ごみの分別は大切ですね

～市民見学会～

5月25日(土)、27日(月)、28日(火)の3日間、市民見学会が行われました。

この市民見学会は、登別のまちづくりが進む様子を市民のみなさんにもっと知っていただき、市政に対する理解を深めていただくため、市が毎年春と秋に開催しているもので、3日間で60の方が参加しました。

参加者は、4月にオープンしたばかりのふおれすと鉱山をはじめ、クリンクルセンター、若山浄化センター、特別養護老人ホーム『緑風園』などを見学。参加した鷺別町の阿部信子さんは「クリンクルセンターを見学してゴミの分別の大切さがよくわかりました」と感想を話していました。



ふおれすと鉱山を見学する参加者